

毎日新聞社 & 毎日小学生新聞

まな 学びの フェス

2025 夏

実践女子大学
(東京)を会場に

36企業・団体が出前授業

親子1500人来場



学びのフェスの受付に並ぶ親子



「もちもち♥ぱんだ」のねこぱんも登場

今回の学びのフェスには36の企業・団体が参加し、39の授業が行われました。会場全体を利用したクイズラリーも開催され、毎小の連載「もちもち♥ぱんだ」の「でかばん」や「ねこぱん」も登場し、にぎわいました。また、大衆演劇の衣装を着て

企業・団体の出前授業を集めた小学生向けのイベント「学びのフェス2025夏」(毎日新聞社主催、実践女子大学など協力)が6日、東京都渋谷区の実践女子大学渋谷キャンパスで開かれました。夏休み中の親子約1500人が訪れ、工夫がこらされた授業を楽しみました。【坂井友子、古関俊樹、斎藤広子】



毎日小学生新聞の「80年前の今日何があった?」をまとめた掲示に見入る子どもたち

おどったり、アプリを使ってお金について学んだり、目の健康や辞書について勉強したりする授業がありました。アイマスクをつけて視覚障害者の世界を体験する授業では子どもたちは真剣な表情で取り組んでいました。ほかに、空港のグランドスタッフや歯科衛生士を体験する「お仕事体験」や、すぐろくで仕事のルールを学ぶ授業、SDGs(国際連合の持続可能な開発目標)につながるたくさんの授業が行われていました。栃木県佐野市の小学6年、赤堀志樹さんは「液晶タブレットで風鈴の絵にぬり絵をしたのが楽しかった」と話していました。

実践女子大学 須賀ゼミ

女子大生が作ったカルタで遊ぼう



実践女子大学の学生がデザインした「アートカルタ」やポップな「見立てカルタ」で楽しく遊びました。学生と一緒に環境をテーマにしたオリジナルカルタ作りにもチャレンジしました。

実践女子学園中学校高等学校

「未来デザイン」を体験!

身の回りや世界の問題について知るために、実践女子学園中学校高等学校で行われている授業「未来デザイン」をもとに、「SDGsカードゲーム」を通し、SDGsの17の目標を楽しく学びました。

カミオジャパン

オリジナルちびぱんを作ろう!



毎日小学生新聞の大人気連載「もちもち♥ぱんだ」を生み出すカミオジャパンのクリエイターから、かわいいキャラクターを作るためのアイデアの出し方やイラストの描き方を教わりました。「ちびぱん」を自由にデコレーションして、オリジナルの缶バッジを作りました。

パズルステージ

パズルに挑戦!

「ことばパズル」や「すうじパズル」など、いろいろな種類のオリジナルパズルを解いたり、自分でパズルを作ったりすることにも挑戦しました。

実践女子大学 下山ゼミ

デザインのひみつを知ろう⑤



2011年におきた東日本大震災で被害を受けた福島県相馬市には昔、「中村城」というお城がありました。話を聞いて紙でお城の工作をすることで、これまで知らなかった場所とのつながりを得ました。

オルガニート愛好会

オルゴールの曲を作ろう

紙にたくさんの穴があいた「曲カード」を入れ、ハンドルを手で回すと音楽が流れる「オルガニート」。作曲用カードに絵や文字をかくて穴をあけ、オリジナルの曲を作って演奏しました。

ビジョン・コンソーシアム

視覚障害者の世界を体験しよう



目が見えない人たちがどうやって暮らしているか、視覚障害について学びました。親子でペアになり、目かくしをした状態で白杖を使ってゴールを目指したり、宝物をさわって音や重さで確かめたりしました。

毎日教育総合研究所

めざせ! ニュース博士

ニュースの理解度がチェックできる、毎小でもおなじみ「ニュース検定」。今回の学びのフェス用に作られたオリジナル問題に挑戦し、時事問題に親しみました。

ディレクティングマップ

地球にない私のくにとこっき



国旗芸人でお笑いコンビ「火災報知器」の小林知之さんが、世界の国々の国旗の秘密を教えました。自分だったらどんな色やデザインにするかを考えて、理想のオリジナル国旗を作りました。

Hanasone

講演 子どものユニークな特性に

「Hanasone」は毎日新聞の女性向けサイト。ギフト特性のある子のためのフリースクール「Lagoon」代表でコラムを連載するMaiさんが、大人の向き合い方などについて講演しました。